

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成30年11月8日(2018.11.8)

【公開番号】特開2017-58925(P2017-58925A)

【公開日】平成29年3月23日(2017.3.23)

【年通号数】公開・登録公報2017-012

【出願番号】特願2015-182844(P2015-182844)

【国際特許分類】

G 06 F 17/30 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/30 3 2 0 B

G 06 F 17/30 1 7 0 J

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月14日(2018.9.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ユーザ操作に応じて入力された文字列に対応する第1辞書の見出し語の説明情報を取得して表示部の第1領域に表示させる第1辞書情報表示制御手段と、

前記第1領域に表示された説明情報中の各単語に対応する第2辞書の各見出し語を取得して前記表示部の第2領域に一覧表示させる第2見出し語一覧表示制御手段と、

前記第2見出し語一覧表示制御手段に表示された前記第2辞書の見出し語のうちいずれかの見出し語を指定見出し語として指定し、前記指定見出し語の前記第2辞書の説明情報を取得して前記表示部の第3領域に表示させる第2辞書情報表示制御手段と、

を備える情報表示制御装置。

【請求項2】

ユーザ操作により前記第1領域に表示された説明情報中のいずれかの単語を指定する、前記第2領域に一覧表示された見出し語のうち、前記指定された単語に対応する見出し語が指定見出し語として指定されることを特徴とする、

請求項1に記載の情報表示制御装置。

【請求項3】

ユーザ操作により前記第2領域に一覧表示された見出し語のうちいずれかの見出し語を指定見出し語として指定すると、前記表示部の第1領域に表示された説明情報中の前記見出し語に対応する単語が識別表示されることを特徴とする、

請求項1に記載の情報表示制御装置。

【請求項4】

前記入力された文字列に対応する前記第1辞書の前記見出し語の候補を前記表示部の第4領域に一覧表示させる第1見出し語一覧表示制御手段

を更に備える請求項1に記載の情報表示制御装置。

【請求項5】

コンピュータに対して、

ユーザ操作に応じて入力された文字列に対応する第1辞書の見出し語の説明情報を取得して表示部の第1領域に表示させる第1辞書情報表示制御機能と、

前記第1領域に表示された説明情報中の各単語に対応する第2辞書の各見出し語を取得

して前記表示部の第2領域に表示させる第2見出し語一覧表示制御機能と、

前記第2見出し語一覧表示制御機能に表示された前記第2辞書の見出し語のうちいずれかの見出し語を指定見出し語として指定し、前記指定見出し語の前記第2辞書の説明情報を取得して前記表示部の第3領域に表示させる第2辞書情報表示制御機能と、

を実現させるプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の情報表示制御装置は、ユーザ操作に応じて入力された文字列に対応する第1辞書の見出し語の説明情報を取得して表示部の第1領域に表示させる第1辞書情報表示制御手段と、前記第1領域に表示された説明情報中の各単語に対応する第2辞書の各見出し語を取得して前記表示部の第2領域に一覧表示させる第2見出し語一覧表示制御手段と、前記第2見出し語一覧表示制御手段に表示された前記第2辞書の見出し語のうちいずれかの見出し語を指定見出し語として指定し、前記指定見出し語の前記第2辞書の説明情報を取得して前記表示部の第3領域に表示させる第2辞書情報表示制御手段と、を備える。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明のプログラムは、コンピュータに対して、ユーザ操作に応じて入力された文字列に対応する第1辞書の見出し語の説明情報を取得して表示部の第1領域に表示させる第1辞書情報表示制御機能と、前記第1領域に表示された説明情報中の各単語に対応する第2辞書の各見出し語を取得して前記表示部の第2領域に表示させる第2見出し語一覧表示制御機能と、前記第2見出し語一覧表示制御機能に表示された前記第2辞書の見出し語のうちいずれかの見出し語を指定見出し語として指定し、前記指定見出し語の前記第2辞書の説明情報を取得して前記表示部の第3領域に表示させる第2辞書情報表示制御機能と、を実現させる。